

授業科目 義肢学II（下腿義足）

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	義肢
大 塚 博、福田 弘 和 加 藤 博 務		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】					
概要：					
下腿義足の用語、定義、腿切断となる原因、義足の処方および製作に必要な情報、切断端の評価方法、カルテへの記入方法、適合した義足を製作する上で必要な知識、コストについて学ぶ。					
G10：					
下腿義足の理解と利用者のQOLを高めるために、関連する技術・知識を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
1. 本科目の全体的な概要と評価内容、評価方法を理解している。					
2. 下腿義足の歴史、種類、構造、構成要素にういて説明できる。					
3. 下腿切断の原因、失われる機能、断端の特長、切断後のケア、リハビリテーション、社会復帰後の使用状況について理解している。					
4. 下腿義足の処方および製作に必要な情報が説明できる。					
5. 下腿義足の処方および製作に必要な切断端の評価方法、カルテへの記入方法、管理方法について説明できる。					
6. 下腿義足ソケットの種類、体重支持原理、懸垂方法、アライメント、義足部品（足部）、バイオメカニクス等について説明できる。					
7. 下腿義足ソケットの評価方法および適合方法、アライメントの評価方法および調整方法について説明できる。					
8. 下腿義足の採寸採型から完成までの行程を理解し、下腿義足の価格構成について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション（全体の概要と評価方法）			1	説明
2	下腿義足の歴史、種類、構造、構成要素			2	講義
3	下腿切断の原因、合併症、失われる機能（残存機能）、切断端の特長、切断後のケア、リハビリテーション、社会復帰後の使用状況			3	講義
4	切断者とのコミュニケーションの図り方、義足処方・製作に必要な情報と評価方法、カルテの記入方法			4, 5	講義
5	下腿義足ソケットの種類、体重支持原理、懸垂方法、アライメント、義足部品（足部）、下腿義足歩行、バイオメカニクス			6	講義
6	下腿義足の装着方法、ソケットの評価方法および適合方法、アライメントの評価方法および調整方法			7	講義
7	下腿義足の採寸採型から完成までの行程、下腿義足の価格構成			8	講義
8	まとめ				確認試験
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		義肢学 日本義肢装具学会監修	澤村誠志編、鋤園栄一ほか	監修 医歯薬出版	1988
参考書		切断と義肢	澤村誠志	医歯薬出版	1999
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
最終筆記試験70%、小テスト20%、レポート10%			原則、授業の1/3までの欠席の者は、科目評価資格を失うものとする。遅刻2回で1回の欠席とする。最終評価から1回の欠席につき-5点、1回の遅刻で-3点とする。		